

令和 8 年度 第 1 回志布志市女性活躍推進会議 会議内容

1 開催日

令和 8 年 7 月 22 日（水曜日）

2 場所

志布志市役所 志布志役所本庁舎 4 階庁議室

3 講義

「女性活躍推進について」

大妻女子大学 人間共生学部 共生デザイン学科 高丸 理香准教授

4 協議事項

- (1) 会長及び副会長の選任
- (2) 志布志市女性活躍推進事業報告及び計画について
- (3) その他

4 会議の概要

最初に大妻女子大学の高丸理香准教授に女性活躍推進について講義をしていただいた。その後、本市における女性活躍を進める上で、事業報告を行うとともに、事業計画について協議を行った。主な意見交換の内容は下記のとおり。

(1) 志布志市女性活躍推進事業報告及び計画について

・令和 7 年度の女性活躍推進事業報告を行った。女性が輝ける職場づくりを目指して「女性の社会参画推進事業」と題して、事業所と高校生の交流会、派遣アドバイザー事業、女性活躍推進セミナー、大学生との連携を実施した。また、地域の働き方・職場改革等に取り組む自治体で国の伴走支援を受け、地域同期会を開催した。市内事業所に勤める概ね 3 年以内の若手職員の地元定着を目指し、地元事業所の枠を超えたネットワークづくりを目的とし、「志布志地域同期会」を開催することで、若者が活躍できる地域、若者に選ばれる地域を目指す。参加者同士の交流が生まれ、事業初年度の目的は達成されたと思われる。

・令和 8 年度は、職場のウェルビーイングを目指して「働く女性応援事業」と題して、令和 7 年度の事業を継続しながら、新たに生理痛体験研修の開催や女性活躍推進計画策定のため、住民意識調査を実施する。さらに、女性デジタル人材育成支援事業として、志布志市女性デジタル人材育成支援事業を実施する。令和 6 年度に実施したアン

ケート結果から、育児や介護等により時間的・場所的な制約のある女性に対して、テレワーク養成講座を行うことで、デジタルスキルの向上やデジタル分野への就業支援となり、働くことに對し柔軟に對應できるようになることで、安定的な収入を得られるようになり、女性がより活躍できる社会となると考える。

大学生との連携では、令和8年4月21日に大妻女子大学との包括連携に関する協定を締結した。外部の若者の意見を取り入れた課題解決の手法の確立や地域課題解決に資する人材育成、フィールドワーク等での本市児童生徒などとの交流促進による双方の活性化を図ることを目的としている。令和8年度は、事業所と高校生との交流会やセミナー等に学生が参加する予定である。

また、令和7年度に引き続き、国の伴走支援を受け、地域の働き方・職場改革等に取り組むこととしている。

(2) 女性活躍推進会議について

- ・女性活躍推進会議委員は、会議に参加して他の方々の意見を聞いて、委員としての自分の知識を増やしていくことが大事である。

- ・委員には、女性活躍推進会議の中で事業の内容等を見ていただき、実際にセミナー等に参加していただき、色々なご意見をいただきたい。

(3) 生理痛体験研修について

- ・心の痛み、体の中の痛みは外に伝わりづらく口に出さないと周りには伝わらない。どうしても口に出せない痛みがある時に周りのサポートや、職場の仕組みを作っていくような管理職や人事担当にまず知ってもらうことが大事である。

- ・生理痛体験がすごく良い体験だと思う。大人になって人の痛みを忘れがちなので、痛みを体験できる機会は、とても大事だと思う。色々な経験をして人の痛みが分かると思う。これからも続けてほしいと思った。

(4) 事業所と高校生との交流会について

- ・事業所と高校生との交流会は、高校生だけに縛っているのではないか。小中学生からの意識改革が必要であると感じている。

- ・高校生を対象としているのは、志布志市外に出る前に今後のキャリアデザインをつくるきっかけになり、志布志にまた戻ってきたいと思ってもらいたい。高校生以外の小学生・中学生に志布志市の仕事を知っていただける機会を作るのも良いと感じる。

- ・小学生等を対象とした交流会については、志布志市内には素敵な事業所や色々な事業所があることを幼い頃から知るといのは、とても良い経験だと思う。事業所を知っ

てもらえれば、将来志布志市から転出した時に、また戻ってきてくれるのではないかなと思う。子どもの頃から事業所と交流会を経験することは、非常に重要だと思う。

(5) 課題解決のためのワークショップについて

・課題解決のためのワークショップは、令和 8 年度はピーマン農家様だけではなく、他の事業所様からも応募があったため、また報告したいと思っている。